

ご使用前に必ず本取扱説明書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。お子様が使用する場合は、保護者が取扱説明書を読み、使用上の注意事項をお子様にご説明ください。本取扱説明書に記載していない方法で使用しないでください。

警告 (生命への危害、事故の防止)

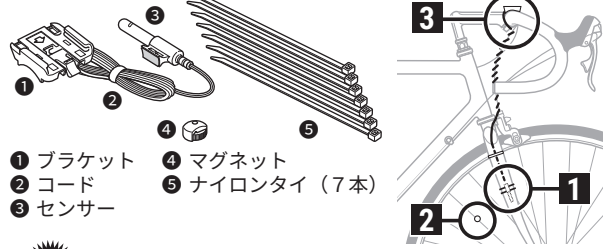
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、ゆるみがないことを定期的に点検してください。
- 走行中の操作は危険です。画面に気を取られないように安全走行を心がけてください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- 製品、パーツ類の分解や改造はしないでください。

注意 (傷害、故障、物的損害の防止)

- 幼児の手の触れるところに放置しないでください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。
- 炎天下に長時間放置しないでください。
- 本製品はJIS C0920に基づくIPX7の保護構造です。ただし、故障の原因になるので、水に浸けて操作しないでください。
- 強い振動や衝撃、無理な力を与えないでください。異常がみられた場合は使用をやめてください。
- 指定の電圧、極性以外での使用やショートをさせたりしないでください。
- 火中に投入したり、加熱しないでください。
- 濡れた状態で電池の交換を行わないでください。
- 電池を廃棄する際は、地域で定められた方法で処分してください。

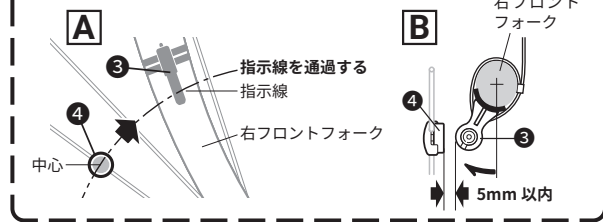
自転車への取付け

この説明に従って、まず自転車へ部品を取付けてください。

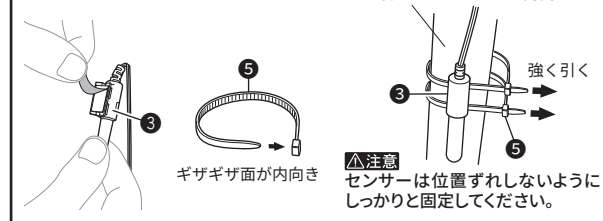


重要

センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に調整して取付けてください。



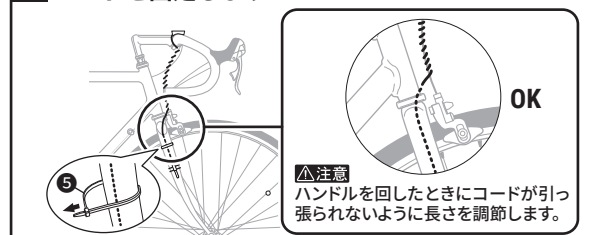
1 センサーを取付けます



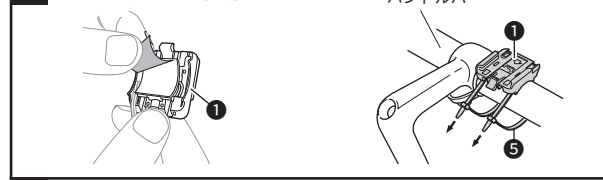
2 マグネットを取付けます



3 コードを固定します



4 ブラケットを取付けます

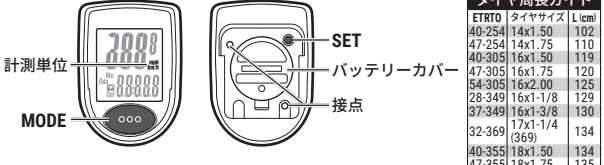


5 コンピュータの着脱



テスト
コンピュータをブラケットに装着し、前輪を軽く回してみます。速度が表示されるとセンサーとマグネットの取付けはOKです。表示されないときはAとBの位置関係を確認してください。

コンピュータの準備

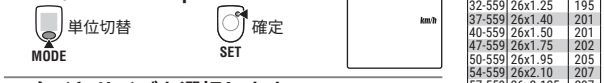


初めてご使用になるときや工場出荷時に戻すときは、次の手順でオールクリア操作を行います。

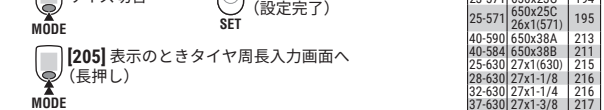
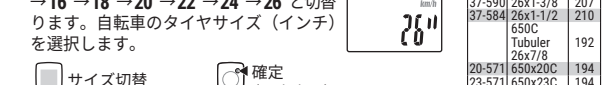
1 オールクリア (初期化) します



2 計測単位を選択します



3 タイヤサイズを選択します



タイヤ周長として数値を入力することもできます (より正確に計測できます) 画面に[205]を表示してMODEを長押しすると自転車のタイヤ周囲の長さをcm単位で入力できます。MODEで数値を変更して長押しで桁移動します。

※目安としてタイヤ周長ガイドをご活用ください。

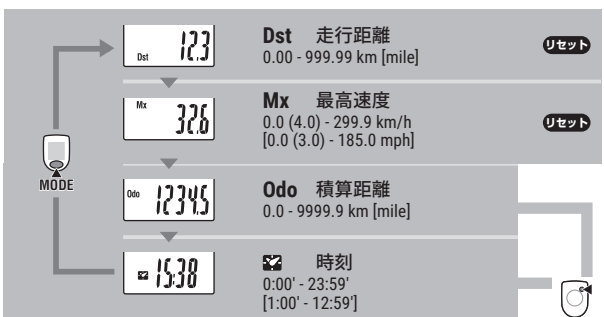


より正確なタイヤ周長 (L) を実測して求める場合、タイヤの空気圧を適正にし、タイヤ接地面にペンキ等で印を付けて乗車します。タイヤを1回転させ、路面に付いた印の間隔を測ります。目安として周長ガイドを活用してください。

コンピュータの操作

計測のスタート・ストップ
自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。計測中はkm/hまたはmphが点滅します。

選択データの切替
MODEを押すと図のように選択データが切替ります。



データのリセット

上図でリセットマークのある画面のとき、MODEを長押しすると計測データが0に戻ります。積算距離はリセットされません。

節電機能

約10分間信号が入らないと時刻表示だけの節電画面になります。ボタンを押すかセンサー信号が入ると計測画面に戻ります。

時刻を合わせるには

時刻を表示して、SETを押すと時刻設定画面になります。時刻は24時間表示 (PM2時は14時) で設定します。

- MODEで点滅する数値が増加し、押し続けると早送りします。
- SETを押すと「時」→「分」の設定に切替り、もう一度押すと時刻が確定して計測画面に戻ります。

タイヤ周長を変更するには

Odoを表示してSETを押すとタイヤ周長入力画面になります。設定方法は、「コンピュータの準備3」と同様です。

メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使用しないでください。押ボタンと本体の隙間に泥や砂が詰ると、押ボタンが動きにくくなる場合があります。水で軽く洗い流してください。

電池の交換

表示が薄くなってきたら電池の交換時期です。新しいリチウム電池 (CR2032) を (+) 側が上面に見えるように挿入します。

※電池交換後は「コンピュータの準備」の手順に従ってください。



トラブルシューティング

全く表示が出ない。
電池が消耗していませんか?
新しい電池に交換してください。交換後は「コンピュータの準備」の手順に従ってください。

異常な表示が出る。
「コンピュータの準備」の手順に従いオールクリアをして、再度コンピュータを設定してください。(これまで計測したデータはすべて消去されます。)

スピード表示がでない。
(速度表示が出ないとき、本体の接点を金属片で数回ショートさせます。表示されるとコンピュータは正常で、ブラケット/センサー側の問題と考えられます。)

コードが断線していませんか?
外観上異常がなくても断線している場合も考えられます。ブラケットセンサーセットを新しい物と交換してください。

センサーとマグネットの距離が離れすぎていませんか?
センサー指示線とマグネットのセンターがずれていませんか?
マグネットとセンサーの位置を調整し直してください。(隙間は5mm以内)

コンピュータやブラケットの接点に何か付いていませんか?
接点を拭いてください。

降雨時、走行中にスピードを表示しなくなる。
ブラケットの接点の水分を良くふき取り、撥水剤 (シリコングリス) を塗布してください。撥水剤はホームセンターなどで手に入るシリコングリスをご使用ください。一般の機械用グリスはブラケットが破損する恐れがありますので使用しないでください。

製品仕様 (キャットアイ ベロ5)

使用電池.....リチウム電池 (CR2032) × 1
電池寿命.....約3年 (1日1時間使用時、使用環境により異なる)
制御方式.....4 bit 1-chip マイクロコンピュータ (水晶発振器)
表示方式.....液晶表示
検知方式.....無接触磁気センサー
選択可能タイヤサイズ.....16", 18", 20", 22", 24", 26", 700c または タイヤ周長 100 cm ~ 299 cm (初期値 26 インチ)
使用温度範囲...0°C ~ 40°C (動作保証範囲: 範囲外は表示の視認性が悪化します)
寸法・重量.....52.5 x 38 x 18 mm / 27 g
※あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。
※当製品は、自転車での使用を前提に開発されています。
※仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2年保証: コンピュータのみ (付属品及び電池の消耗は除く)
正規小売店でご購入いただき、正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前にEメール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。修理のご依頼にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できるレシートなどを添えて、当社宛に直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。ネットオークションを含む全ての転売品、事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にて負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

お問い合わせフォーム: <https://www.cateye.com/jp/contact/>
ご連絡の際、購入履歴・連絡先・故障状況が必要になります。

【宛先】株式会社キャットアイ カスタマーサービス
〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2丁目8番25号
TEL: (06)6719-6863 ダイヤルイン FAX: (06)6719-6060
ホームページ www.cateye.com
Eメール support@cateye.co.jp

標準部品	
1699550 ブラケット センサーキット	1665150 リチウム電池 (CR2032)
	1699691N 標準マグネット

※事故や故障を防ぐため、純正部品をご使用ください。